

野良猫にエサを与えている方へ

周辺住民に迷惑をかけていませんか？

野良猫にエサを与えるときは、 管理をきちんと行いましょう

適切な管理をせず、エサを与えると…

多くの野良猫が集まり、ふん尿の臭いや鳴き声、抜け毛、えさの食べ残しなどにより、周辺の住民に迷惑がかかります。庭や花壇を荒らす、車を傷つけるなどの被害にあう方もいます。

不妊去勢手術がされていなければ野良猫が増え、周辺住民への被害や迷惑が大きくなります。



適切な管理とは

置きエサをするのではなく、決まった時間に決まった頭数分のエサを与え、片付けをしましょう。トイレを設置し、ふん尿被害を防ぎましょう。

●TNRについて

適切な管理環境が整っていない状況で、野良猫による様々な問題を解決する方法として、野良猫に不妊・去勢手術を行うTNR (Trap:捕獲、Neuter:手術、Return:元の場所に戻す) があります。また、TNRと同時に地域等で野良猫への給餌やトイレを共同管理する「地域猫活動」という方法もあります。

ご存じ
ですか？

動物の遺棄・虐待は犯罪です。

動物をみだりに傷つけたり、殺したりすると5年以下の懲役又は500万円以下の罰金に、エサや水を与えずに衰弱させたり、病気を放置して衰弱させたりするなどの虐待を行った場合は1年以下の懲役又は100万円以下の罰金が科せられます。また、愛護動物を遺棄した場合も、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金が科せられます。(令和2年6月以降)



鳥取市保健所 HP (愛玩動物) : <https://www.city.tottori.lg.jp/www/genre/1519897281418/index.html>



保健所連絡先

鳥取市保健所 生活安全課

☎ 0857-22-8111 (鳥取市コールセンター)

令和2年4月

人と猫が幸せに暮らすために

あなたが猫のために できること

室内飼養

所有明示

不妊去勢



交通事故や
病気、ケガを
避けられます

発情期特有の
困った行動を
避けられます

望まない
妊娠を
避けられます

糞尿などの
迷惑がなくなり、
ご近所トラブルが
減ります

迷子になっても
おうちに
帰れます

鳥取市保健所

あなたが猫のためにできること



いろいろな利点がある「不妊去勢手術」

猫は繁殖力の強い動物です。1年間に2～4回の出産が可能で、メスの子猫は生後半年ほどで繁殖できるようになります。「手術はかわいそう」「かわいい子猫が見たい」などは飼い主の一方的な考えです。

不妊去勢手術をすることで

- ① 繁殖に対するストレスを抑え、問題となる行動を予防できます
- ② もらい手のない子猫が生まれることが避けられます
- ③ 性ホルモンに関係する病気を予防できます

鳥取県では平成30年度に192頭の猫をやむを得ず処分しました。そのほとんどは、飼えないために捨てられた子猫や野良猫が産んだと思われる子猫です。処分される猫の数を減らすためには、飼えない命を生み出さないよう不妊去勢手術をすることが必要です。



大切な猫を守る「室内飼い」

室内で猫を飼うことで

- ① 病気や寄生虫に感染することを防ぐことができます
- ② 猫同士のけんかによるケガを避けられます
- ③ 交通事故にあいませ
- ④ ご近所トラブルになりません

環境を整え、飼い主がかまってやることで、猫は外に出なくても不自由しません。



迷子にならないための「迷子札」

室内飼いであっても、何かに驚いたり窓や扉の閉め忘れなど思いがけないアクシデントで迷子になることがあります。万が一迷子になっても飼い主のところに戻れるよう、**飼い主の連絡先が分かる首輪***や**名札、マイクロチップ**を装着しましょう。

万が一迷子になったら、**すぐに保健所とお近くの警察署に連絡**しましょう。

迷子のペット情報はこちら <https://www.city.tottori.lg.jp/www/genre/1520231926272/index.html>

※首輪は引っかかりを防止するために力が加わると外れるタイプを使用するとよいでしょう



猫は室内で飼おう！

室内飼育のメリット

- ① 感染症にかかる危険が少ない
- ② 猫同士のけんかによるケガの回避
- ③ 交通事故にあう危険がない
- ④ ご近所トラブルが少なくなる

室内飼育のデメリット

猫が退屈しやすい

▶ 環境を整え飼い主がコミュニケーションをとることで、猫は室内飼育でも十分に幸せに暮らせます!!

猫に快適な室内環境

室内の安全対策

- 脱走しないように、窓や扉の戸締りを徹底しましょう。
- 口にすると危険なものを片づけましょう。(電気コード、観葉植物など)



外を眺める場所

窓の外を見えるという刺激が与えられ、「退屈」を感じにくくなります。



くつろげる場所

柔らかな布の上、暖かな場所を好みます。



隠れ場所

猫は本来臆病な動物です。驚いたときに猫が逃げ込めるスペースを用意しましょう。



トイレ

猫は非常にきれい好きで、トイレにこだわりがあります。



上下運動

上下運動や動き回れる空間があると、猫は自分でエネルギーを発散できるため、問題行動の予防になります。



入り組んだ動き回れる空間



爪とぎ

猫は爪とぎの習性があります。家具や柱などで爪を研がないように、専用のものを用意しましょう。



ケージ

子猫のうちから習慣づけて上手に使うとよいでしょう。災害時や入院時にも役に立ちます。

飼い主とのコミュニケーション

室内飼育されている猫の場合は他の社会や動物との接点がないので、その分飼い主が毎日コミュニケーションを図り、かまってやる必要があります。話しかけたり、なでたり、おもちゃを使って遊んだりする時間を作りましょう。